

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	『食文化あふれる国・日本』プロジェクト			担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(食文化担当)	参事官(食文化担当) 野添副司			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術基本法 第4条、第12条、第24条、第29条の2、第35条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)				
主要政策・施策	観光立国、食育推進、地方創生			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年12月にはユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録され、平成29年6月に改正された文化芸術基本法では、生活文化の例示として「食文化」が明記され、国はその振興を図ることとしている。 このため、本事業では、特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル事例を形成するとともに、食にまつわる新たな認定制度の創設、文化財指定等に向けた調査研究等を推進し、食文化の継承・振興と、それによる地域の活力向上を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業 特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル地域等に対し、その文化的価値を伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等(文化財指定等に向けた報告書作成等)を支援。(補助率:定額、令和3年度開始)。 ②食文化機運醸成事業 博物館等を活用した食文化への学びと体験の機会の提供、文化や食のイベントとの連携、オンラインによる情報発信により、国民の食文化への理解を深める。 ③食でつながる日本の文化認定事業 多様な地域の伝統食やそれを支える文化財など、食にまつわる伝統文化の魅力推進する取組を認定・支援。 ④食文化機能強化に関する基盤的な調査 文化財指定等に向けた国内外の食文化の現況調査、食文化研究のプラットフォーム(食文化センター)に必要な機能の調査・検討を行うとともに、食文化インバウンド促進のための動向調査を実施。								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	149.1	188.2	322.3		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	149.1	188.2	322.3		
	執行額		0	0	123.5	-	-		
執行率(%)		-	-	83%	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	83%	-	-			
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興委託費	93	205	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	文化芸術振興費補助金	81	100	令和5年度は「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年となる節目であり、国内外に食文化の魅力発信するイベント等を開催を予定しているため増加している。					
	庁費	6.1	5.6						
	職員旅費	3	5.4						
	諸謝金	2.9	3.9						
	委員等旅費	2.2	2.8						
計	188.2	322.3							
活動内容(アクティビティ)	特色ある食文化の継承・振興に取り組むモデル地域に補助を実施し、「食文化ストーリー」の構築・発信を支援。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	ストーリー構築に向けた調査や研修会、講習会等を実施し、モデル事例を形成する。	モデル地域・団体における研修、講習会、ワークショップ等の開催回数	活動実績	件	-	-	25		
		当初見込み	件	-	-	27	23	30	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	文化芸術振興費補助金の予算額/補助事業実施件数			単位当たりコスト	千円	-	-	8,000	6,230
				計算式	/	-	-	80,000千円/10件	81,000千円/13件

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度		
	モデル地域・団体等が特色ある食文化の文化的価値を伝える食文化ストーリーを構築する。	食文化ストーリー数		成果実績	食文化ストーリー数	-	-	10	-	-
		目標値	食文化ストーリー数	-	-	8	27	47		
		達成度	%	-	-	125	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	補助事業者からの実施報告									
活動内容(アクティビティ)	食文化の機運醸成のため関係者の全国ネットワークの構築、食文化継承・振興・発信に資するシンポジウム等を開催する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	食のイベント等と連携した取組・情報発信	食文化発信に取り組んだ文化や食のイベント数		活動実績	件	-	-	1		
		当初見込み	件	-	-	1	1	2		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	委託事業費/開催回数		単位当たりコスト	千円	-	-	24,000	20,000		
		計算式	/	-	-	24,000千円/1件	20,000千円/1件			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度		
	国民の食文化に対する理解度の増加	シンポジウム参加者へのアンケート調査において「満足度」の割合を毎年度増加させる。		成果実績	%	-	-	88	-	-
				目標値	%	-	-	90	100	-
				達成度	%	-	-	98	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	委託事業者からの実施報告									
活動内容(アクティビティ)	多様な地域の伝統食やそれを支える文化財など、食にまつわる伝統文化の魅力を推進する取組に対して認定・支援を実施。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	地域の食文化の継承のための人材育成や、食にまつわる魅力を発信する。	委託事業件数		活動実績	件	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	4	5		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	文化芸術振興委託費の予算額/委託事業件数		単位当たりコスト	千円	-	-	-	10,500		
		計算式	/	-	-	-	42,000千円/4件			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 8年度		
	地域の伝統的な食文化を継承・発信する優良取組の推進、醸成	食にまつわる取組の認定件数		成果実績	件	-	-	-	-	-
				目標値	件	-	-	-	10	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	委託事業者からの実施報告									
活動内容(アクティビティ)	文化財指定等に向けた国内外の食文化の現況調査、食文化振興のプラットフォームに関する調査、食文化インバウンド促進のための動向調査等食文化機能強化に関する基盤的な調査を実施。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	食文化に係る実態調査	調査報告書件数		活動実績	件	-	-	4		
		当初見込み	件	-	-	4	4	3		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	文化芸術振興委託費の予算額/委託事業件数		単位当たりコスト	千円	-	-	8,750	7,750		
		計算式	/	-	-	35,000千円/4件	31,000千円/4件			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
	-	-		成果実績	件					
				目標値	件					
				達成度	%					

根拠として用いた統計・データ名(出典)	委託事業者からの実施報告	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	本事業は、食文化の文化財への登録等の施策の前提となる基礎的な調査であり、ここから得られた情報・知見を基にして、文化財への登録等の具体的な施策を実施していくこととなることから、施策を実施する以前の現段階において、定量的な目標を設定することは困難である。 令和3年度においては、日本料理の食文化の歴史的背景、特徴的なわざ等の調査を行い、一定の整理を行った。令和4年度においては、ここから得られた情報・知見を基にして、調査の深化と食文化の文化財への登録等の具体的な施策の検討を進めているところ。

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	12 文化芸術の振興	
		施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実	政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf 該当箇所 施策目標12-1-5
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	
		該当箇所		

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の貴重な食文化を継承・振興するために、モデル事業の実施や調査、発信等を行うものであり、国民のニーズも高く優先度が高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	文化芸術推進基本計画(第1期)においてその必要性が明記されており、国として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	第1期文化芸術振興基本計画の重点戦略に掲げられており、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	採択に当たっては、外部有識者による協力者会議により公平性を確保しながら事業を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	各事業において支出対象経費を定め、受益者との負担関係が妥当となるよう事業を行っている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	採択に当たっては、外部有識者による協力者会議により事業規模と予算の妥当性を確保しながら事業を実施している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目と使途は、事業目的に真に必要なものを予算計上しており、対象経費は補助要項等で厳格に定めている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	実績報告書や証憑書類の確認等によって、より適切に補助金が執行されるよう努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	当初の目標であった成果が概ね得られている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	採択に当たり、経費の積算や使途の妥当性を確認し、効果的かつコストを抑えた経費措置となるよう努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見込みどおりとなっており、今後の施策の企画立案に活用する予定である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	令和3年度で得られた実績をもとに令和4年度の事業計画に活用している。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号			事業名	

点検・改善結果	点検結果	本事業は、令和3年度より実施している事業であるが、食文化を含む生活文化の振興については文化芸術推進基本計画(第1期)においてその必要性が明記されているところ、事業採択件数を大きく超える応募があるなど社会的ニーズも高い。支出先の選定に当たっても、競争性が担保され、適切に実施されている。
	改善の方向性	引き続き事業内容の精査や経費の適正な執行の確保に努めるとともに、今後の実施事業の検討に繋げる。

外部有識者の所見

食文化機能強化に関する基盤的な調査事業のアウトカム指標については、具体的な指標が示されておらず評価ができないため、施策形成や成果にどの程度つながったかわかる指標を設定する必要がある。

行政事業レビュー推進チームの所見

部 容 事 改 の 業 善 一 内	この事業は、外部有識者の指摘を踏まえ、事業の成果を正確に把握できるよう成果指標の再設定を検討するべきである。
-------------------------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

を に 年 検 改 度 討 善 内	本事業のうち調査研究は基礎的な調査を実施していることもあり、アウトカム指標の設定が困難ではあるが、着実に事業を実施しつつ正確に成果を図るための指標を検討する。
-------------------------	---

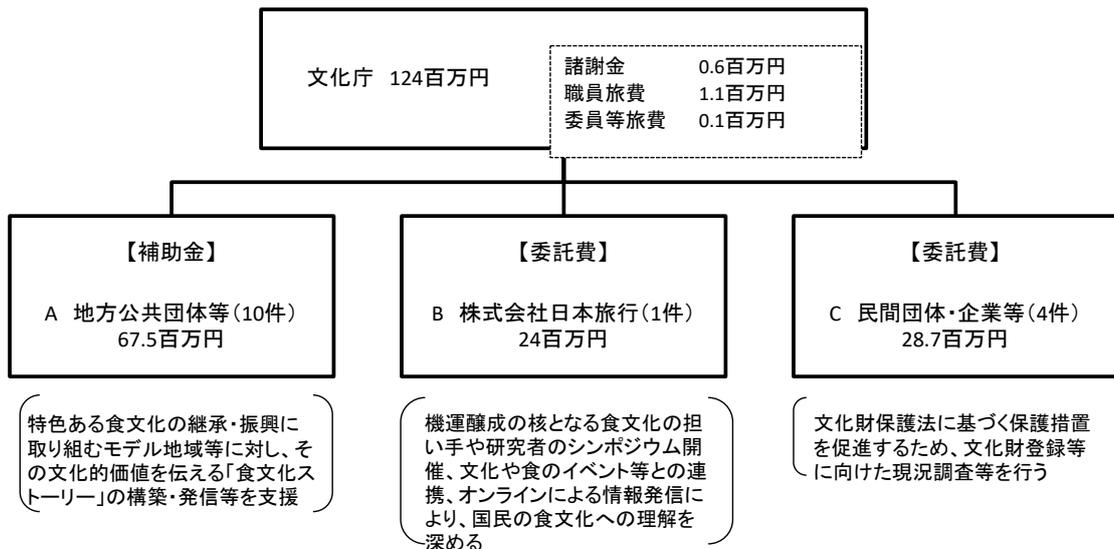
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省	新03	0028	
令和3年度	2021	文科	新21	0016

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

金額は単位未満四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.久慈市			B.株式会社日本旅行		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	日本一の白樺美林の里に受け継がれた 甘さとしょっぱさ ～オンリーワンの粉もん食文化・「まめぶ」～	9.9	事業費	謝金、旅費、借損料、雑役務費	10.3
			再委託費	雑役務費	8
			人件費	賃金	4.2
			一般管理費		1.5
計		9.9	計		24
C.株式会社JTB			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	謝金、旅費、会議費、借損料、保険料、雑役務費	7.5			
人件費	賃金	4.3			
一般管理費		1.2			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	久慈市	4000020032077	日本一の白樺美林の里に受け継がれた「甘さとしょっぱさ ～オンリーワンの粉もん食文化・「まめぶ」～	9.9	補助金等交付	-	-	
2	一般社団法人能登半島広域観光協会	2220005007702	能登における発酵食文化の発掘・発信事業	9.7	補助金等交付	-	-	
3	京都府	2000020260002	「京都の料理人等により継承されてきた伝統的な食文化―料理技術及び作法―」調査等事業	9.6	補助金等交付	-	-	
4	京都府公立大学法人京都府立大学	9130005006665	味噌及び発酵調味料～飲食文化の相互の影響評価と活用(愛知・岐阜・長野を例に)	8.5	補助金等交付	-	-	
5	徳島県	4000020360007	「にし阿波地域の雑穀食」魅力発掘・発信事業	8	補助金等交付	-	-	
6	甕の旅ソムリエ協議会		甕の旅ソムリエによる食文化プロジェクト	5.1	補助金等交付	-	-	
7	一般社団法人日本スローフード協会	1010005024959	沖縄県国頭村宜名真における「フーヌイユ」食文化継承のための調査研究及び保護継承、発信事業	4.9	補助金等交付	-	-	
8	栃木県	5000020090000	とちぎの食文化調査研究発信事業	4.7	補助金等交付	-	-	
9	鶴岡市	6000020062031	つるおか伝統菓子伝承事業	3.8	補助金等交付	-	-	
10	小浜市	6000020182044	次代へ継承 都への贈答食文化「御食国ストーリー」創出発信事業	3.3	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本旅行	1010401023408	食文化機運醸成事業	24	随意契約 (企画競争)	7	100%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JTB	8010701012863	食文化インバウンド促進のための動向調査事業	13	随意契約 (企画競争)	5	100%	
2	株式会社文化科学研究	8010401025918	食文化振興プラットフォーム構築促進事業	9.3	随意契約 (企画競争)	4	100%	
3	株式会社シー・ディー・アイ	4130001003076	食文化の無形の文化財登録等に向けた調査(手揉み製茶)」	4	一般競争契約 (総合評価)	2	66.3%	
4	学校法人立命館	9130005004289	食文化の無形の文化財登録等に向けた調査(日本料理)」	2.4	一般競争契約 (総合評価)	2	38.7%	